

2014年10月1日発行

鵬 鷲

HOSAI

「鵬鷲」鵬は翼の幅3,000里、一飛びで90,000里という伝説上の中国の鳥。そこで鵬(おおとり)が飛ぶ(=はるかなかなたの)空のことを言う。「際限のない」という意味でも使われる。私たち経済開発同友会の目指す活力ある八代づくりも、言わば際限のない努力を必要としますが毎年この機関誌を出す事によって一步一步目標に近付きたいものです。その願いを込めて誌名を「鵬鷲」と名付けました。尚、題字は本島小夜子先生にお願い致しました。

八代経済開発同友会

(通巻第116号)



http://www.goroyoka-yatsushiro.com
E-mail:jimukyoku@goroyoka-yatsushiro.com



ユネスコへの取組と同友会活動

平成26年度 八代経済開発同友会

第50代 代表幹事 神園 喜八郎

「八代の宝から世界の宝へ」このコンセプトを8つの団体(八代市・熊本県・妙見祭保存振興会・八代商工会議所・八代市商工会・八代青年会議所・よかところ宣伝隊・八代経済開発同友会)が共有し、2016年ユネスコ無形文化遺産登録に向けての本格的な活動が始まりました。9月29日に行う、ユネスコ応援隊発足のプレス発表を皮切りに、それぞれの団体が行動を起こし、千載一遇とも言えるこの機会をどう活かせるのか、その真価に地域の将来がかかっていると思います。

私達八代経済開発同友会は、この事を地域への投資であると捉えました。本年度所信のテーマにも掲げましたが、地方小都市への投資が減少している中で、ユネスコのように直接的な金銭投資ではない事例であっても、投資を受けた対象となったことに価値を見出し、その投資効果は自らが高めていくという仕掛と取組が今必要であります。私たちの役割は、この投資をいかに地域存続の「種」にできるかあります。今までいくつかの投資が地域になされてきました。しかし、それを十分に活かしてきていない

という思いもあります。これまでの事例を踏まえ、理念を基にイノベーションを起こし、やらなければならない事、やるべき事、やりたい事の3つの行動指針を明確にしながら運動を展開できれば、投資を最大限に活用する事ができると思っています。

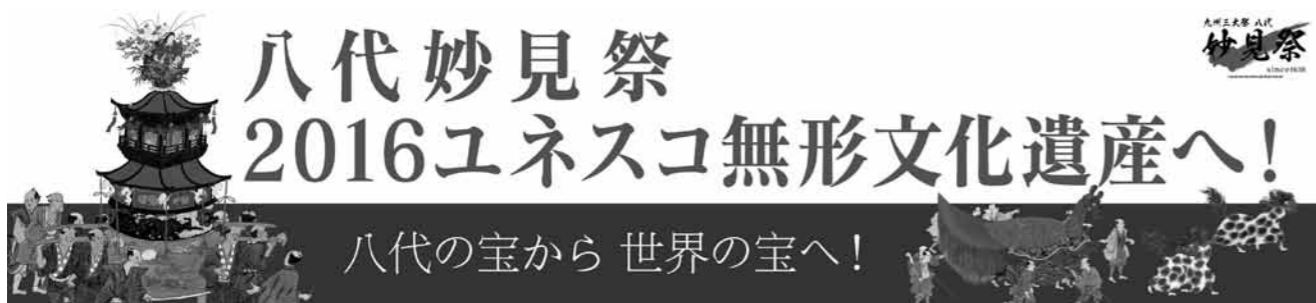
又、この運動の中に、所信テーマ6の強い企業構想へのヒントも溢れていると思います。事を起こし、作り上げていく過程には多くの学び、気づき、それを行う上での方法論があります。それはまさにベンチャー的発想ができる場であり、今までに無かったものに取り組みイノベーションの「種」なのです。

このように地域と企業の「種」を残していくためには、機を逃さない、機を活かす姿勢が不可欠であり、その根底に流れる「理念」が確かであればあるほど、その機会を掴むことができるのです。

同友会内実行委員会の年内活動計画は下記の通りです。会員の皆様には、趣旨をご理解いただき、共に集い、共に学びながら、伝統と文化そして誇りを基とした強い「種」を創り育ててまいりましょう。

“ユネスコ支援応援隊” 事業スケジュール (2014.9~2015.3)

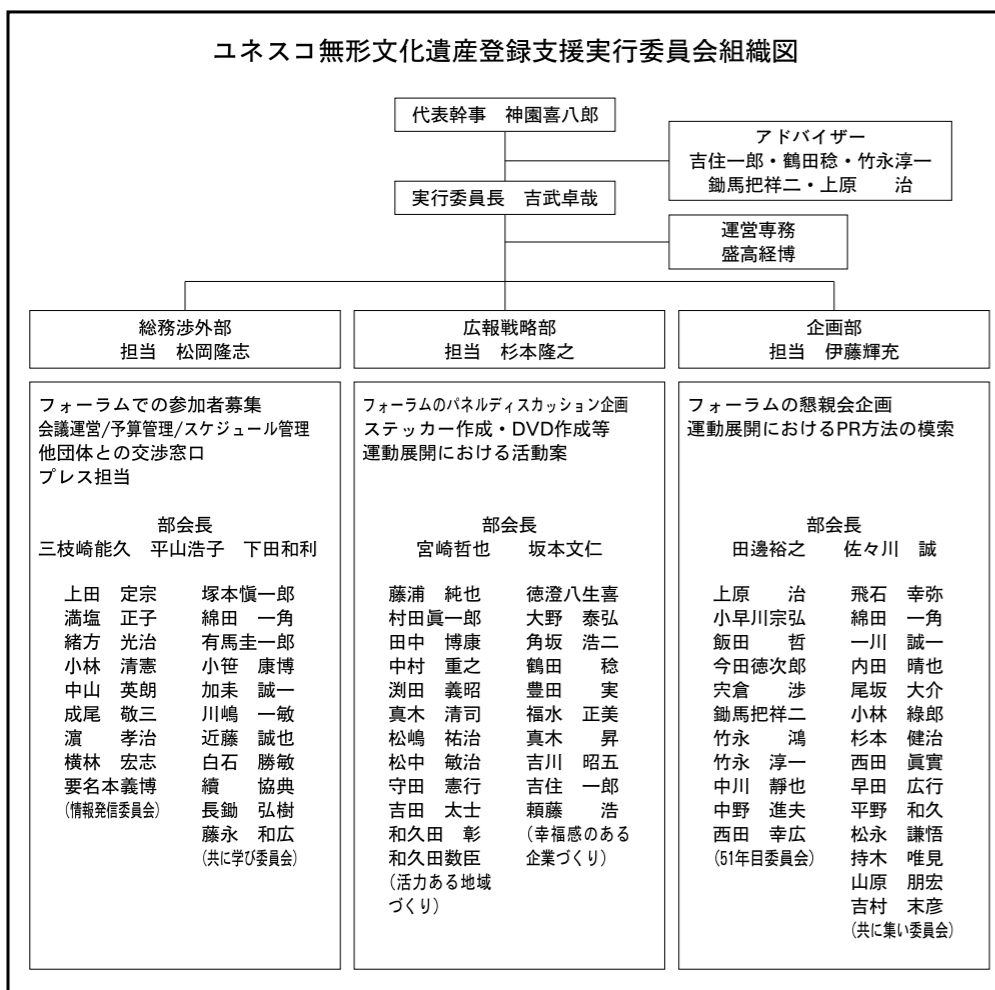
9月	29日 8団体によるプレス発表 市役所14:00~15:00
10月	DVD作成 広報資材を活用した会員によるユネスコ登録応援運動の継続実施 ステッカー作成、笠鉾電飾・キャラ作成、提灯作成、SNS(FB・LINE)を活用した広報宣伝
	18日 花火大会ゆめタウン及び駅でDVD放映
	29日 例会(八代高専森山先生 講演及び決起大会)
11月	14日 演能会 DVD放映 提灯展示 SNS(FB・LINE)活用した広報宣伝
	16日 ちびっこ妙見祭 DVD放映 SNS(FB・LINE)を活用した広報宣伝
	17日 同友会総会
	22日 御夜 DVD放映 提灯展示 SNS(FB・LINE)を活用した広報宣伝
	23日 妙見祭 DVD放映 提灯展示 SNS(FB・LINE)を活用した広報宣伝(案)「どや顔コンテスト」写真撮影
12月	14日 八代の未来を語るフォーラム(仮称)パネルディスカッション開催 DVD放映 提灯展示SNS(FB・LINE)を活用した広報宣伝「どや顔コンテスト」表
1月	市内小中学校でのDVDを活用した啓発活動



2016年。 新しい歴史の 1ページを開く。

わたしたち八代市民は500年の長きにわたり、妙見祭をこころより愛し、いまこの時まで守ってきました。

長崎諏訪神社おくんち、博多筥崎宮放生会と並び九州三大祭りに数えられる八代妙見祭は、平成23年3月に国の重要無形民俗文化財に指定されたのを皮切りに、このたび、平成26年3月に文化庁より全国32のお祭りを一括してユネスコ無形文化遺産候補に提案され、2年後の平成28年秋の登録認定に向けて、新しい歴史の1ページを開こうとしています。



『ユネスコ無形文化遺産登録』の実現へ

古くを遡れば中世、相良氏時代の文献「八代日記」に永世12年（1515年）、天下泰平・五穀豊穰を祈念し祭りが行われていたこと、また永禄8年（1565年）10月18日を祭礼日として中宮、下宮間で神幸行列が行われていたことが記されています。江戸時代に入ると、城下町の発展とともに、神幸行列には、花奴・亀蛇・笠鉾・獅子・木馬・飾馬等、数多くの出し物が奉納され、豪華絢爛な時代絵巻として観る者を魅了し、今に継承されていることは皆様ご承知の通りです。『ユネスコ無形文化財登録』の一言が意味するものは、この歴史ある八代妙見祭の神幸行事が、日本文化を代表する歌舞伎、能楽、雅楽、そして和食と同等の価値があると見なされる、ということなのです。

2014→2016 (ユネスコ登録へのロビー活動の年)

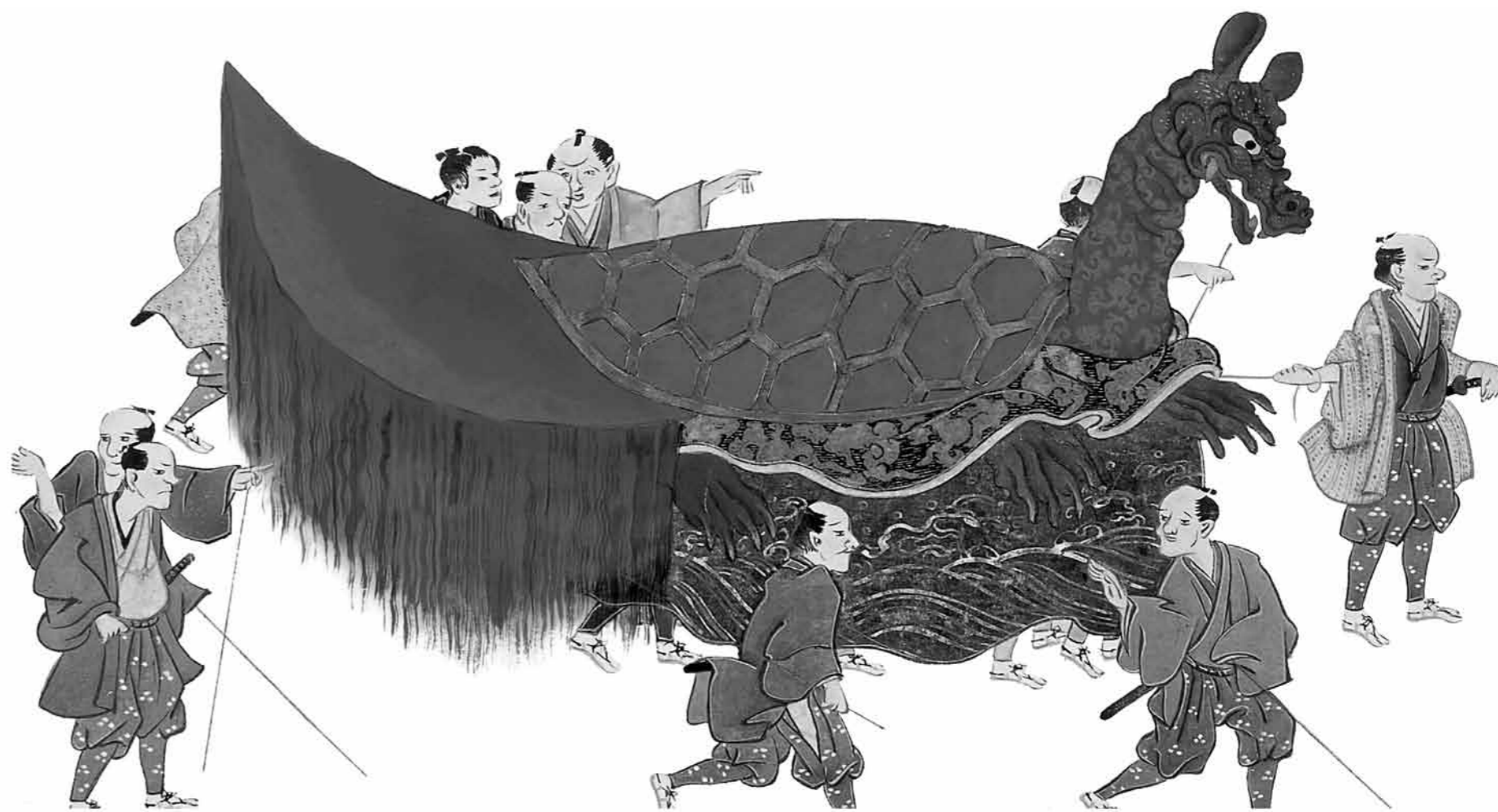
登録までのこの2年間は、妙見祭の、またひいては、八代市の新しい扉を拓くうえで重要な期間となることは間違いありません。

登録が実現すれば、熊本県内で初めてのユネスコ無形文化遺産登録となり、八代の宝は、熊本の、そして日本の宝となっていくでしょう。

八代は、地理的にも九州縦軸の中心であり、高速道路は整備され、新幹線の駅もあり、交通の要所として大変恵まれた環境にあります。

この環境を最大限生かし、千載一遇のこの機会に八代市民、行政が一丸となって足並みを揃えて『新しい八代』への一步を踏み出すときがやってきたのです。

さあ、皆さまと一緒に。八代の新しい1ページを拓きましょう。



定期総会例会報告

「進化と変化＝イノベーション」へのステージへ
「理論」は、イノベーションを起こす「種」である。



平成26年度 定期総会

4月28日(月)八代ホワイトパレスにおいて、平成26年度定期総会が開催されました。25年度の事業報告並び、26年度事業計画案が代表幹事及び各委員長より発表されました。

また、八代商工会議所松木会頭をむかえての講演も行われ、51年目に向けて新たな決意を共有できた有意義な例会となりました。



八代経済開発同友会は、
奉仕の志を持つ者が、
共に集い、学び合い、
幸福感のある企業と、
活力ある地域づくりに貢献する。

5月例会報告

5月28日(水)5月例会がグランドホテルにて、PM7:00より開催されました。鶴屋取締役：本村明様を迎えてのホスピタリティというサービスをテーマとした講演に外部からの参加者も加わり、また少し八代のイノベーションにつなげた例会になったのではと感じられました。



八代亜紀と共に 明日の八代をつくる会

平成26年5月9日(金)「八代亜紀と共に明日の八代をつくる会」総会と懇親会が開催されました。関係団体を含め総勢100名程の出席の中、八代経済開発同友会からも20名程参加。八代商工会議所松木会頭のユーモア溢れるスピーチで会場が和んだあと、八代亜紀さんの多岐にわたるトークショーで、多いに盛り上がった懇親会でした。



市長表敬訪問

5月23日(金)午後1時に神園代表他6名で市長を表敬訪問いたしました。今回の妙見祭笠鉾ユネスコ登録候補といううれしい話題に市の活性化をかさねての熱のある話で盛り上がりがありました。



慶寿の会

6月23日(月)PM6:30より、6月例会と慶寿の会が新歌扇にて開催されました。

古希、還暦、厄入をむかえられた7名の会員を囲んでのなごやかで活気溢れる会となりました。



7月例会報告

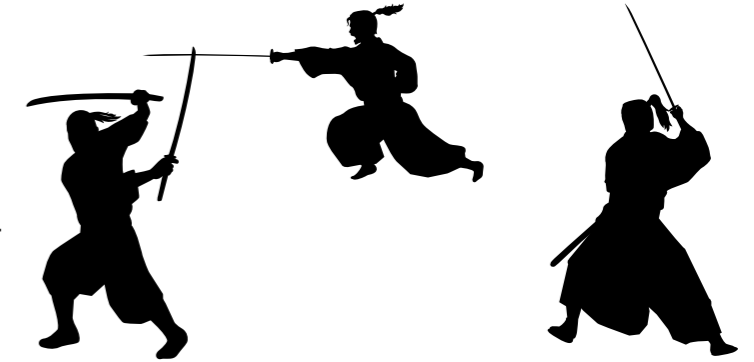
7月28日(月)、7月例会がセレクトロイヤル八代にてPM6:30より開催されました。法政大学大学院坂本研究室坂本ゼミの特任研究員小林秀司様をお招きして「幸福感のある強い企業づくりのために」～女性と高齢者を活かしている強いベンチャー企業の取り組みを学ぶ～というテーマで講演をいただきました。

“一番大切にしたい企業”につながる話に会場にも熱い思いがあふれて、満足感のある例会となりました。

どんな時代でも生き残って行ける強い企業構想を学び共有しよう！



51年目の 90 人の侍



— 50周年で会社理念を新たに見つめなおし、取り組んでいる仲間達の今 —
〈アンケート方式で理念を見つめなおす前と後の変化等を答えていただきました〉

株式会社カーライフ

代表取締役 内田 晴也



社訓 感謝～

全ての人・物・環境に感謝し、今に生きる喜びを常に意識する。

企業理念 幸せものを創る企業。



1. 会社理念 少しだけ追記しました。
2. 会社理念の浸透を行っていますか？
行っています。
3. どのような手法で浸透させていますか？
毎朝の朝礼で唱和、各々前日・当日の自分の役割を確認。月に一度、月初めに全体会議で前月の反省と当月の新たな決意確認。
4. 50周年で経営理念を追求したことで会社に何か変化がありましたか？
わかりやすい理念。
伝えやすい（取り組みやすい）具体的な行動指針の出し方。実行力。

杉本園製茶株式会社

代表取締役社長 杉本 隆之



経営理念

- 一、お客様の健康と幸せに貢献する商品を考え、信頼と満足が得られるように努める
- 一、仕事を通じて地域社会と連携し、環境に配慮し豊かな社会づくりに貢献する
- 一、人権尊重を基本として、社員の幸福と適正な利益を確保して企業の繁栄に努める



1. 会社理念 修正しました
2. 会社理念の浸透を行っていますか？
行っています。
3. どのような手法で浸透させていますか？
従業員が毎日見る日報や商品発注書や売上報告書に理念を掲載しているので、浸透すると思います。
4. 50周年で経営理念を追求したことで会社に何か変化がありましたか？
会社の存在理由を考え、理念を実現するために何をしなければいけないか？そして、それが熊本県の経営革新認定につながりました。

株式会社ゼロワン

代表取締役 松岡 隆志



経営理念 [人間力]

人と人との繋がりを核とした感謝の気持ちを人間力とし、家族と地域とお客様に頼りにされる企業を目指す。

1. 会社理念 修正しました
2. 会社理念の浸透を行っていますか？ 行っています。
3. どのような手法で浸透させていますか？
毎日の売上日報をお店ごとにフィードバックしているが、そこに理念・行動指針を載せている。また、お店ごとに方針を自分たちに考えさせているが、理念に基づいて考えさせ、出勤時にそれを大きな声で唱和しないと、仕事にかかれぬ事になっている。（これは、社員たちの自発的行動）それをお客様が見ているので、お褒め頂くときがある。
4. 50周年で経営理念を追求したことで会社に何か変化がありましたか？
非常に良かった。社長として社員を注意するときや褒めるとき、理念にもとづいて、行うようになったので効果がある。
また、上司も部下を教育するときも理念に基づいて教育しているので、いい関係ができています。これからも、行動指針など進化させ、社員の為の会社を作り上げていこうと思います。



クギヤ印刷株式会社

代表取締役 宮崎 哲也



経営理念 美しい印刷で社会に貢献し、社員の幸福を追求する

- 一、仕事は楽しく自発的に取り組む
- 一、環境にやさしく整理整頓
- 一、みんなに親切に笑顔で挨拶
- 一、紙一重上にチャレンジします



1. 会社理念 修正しました
2. 会社理念の浸透を行っていますか？
行っています。
3. どのような手法で浸透させていますか？
ポスター作製、朝礼・夕礼での唱和・職場の教養を利用していますが、私が話すとき理念を盛り込むようにしています。
4. 50周年で経営理念を追求したことで会社に何か変化がありましたか？
社員第一主義が少しずつ浸透しています。ひいては商品に現れ顧客満足度が高まると思います。
仕事に対する意識が高まっています。
理念のポスターを見た仕入れ先から褒められ、努力を怠らないよう励まされました。会社の信用に係わるとしています。

理念の下に集う者が、地域のために奉仕を行い、
発展を願い実行していく年

理念と覚悟と共に、 新たなステージへ！

編集より

急な依頼に快く応えていただいた会員の皆様、
本当にありがとうございました。

アンケートに答えていただいた会員全ての方が、
理念をしっかりと会社の基軸に据え、日々実践していらっしゃいます。

50周年で経営理念を追求したことが、前向きの
経営姿勢となりすばらしい種がまたひとつ、育っ
ていきそうです。

リーガルパートナーズ司法書士事務所

主宰 田邊 裕之



経営理念 適正かつ円滑な手続きを持って権利の保護に寄与し、依頼主に有益な価値を提供します。

1. 会社理念 修正しました
2. 会社理念の浸透を行っていますか？
行っています。
3. どのような手法で浸透させていますか？
毎週月曜日の朝礼で唱和しています。また、日々の業務の中で判断を要する際、理念を省みて、決断するようにしている。
4. 50周年で経営理念を追求したことで会社に何か変化がありましたか？
法律に規定された業務を行うので、あるいは、依頼された事件の回答・結果は、どの事務所でも受託しても同様の結果であるかもしれない。しかしながら、理念の確立によって、所員一同、立脚している場所を共有しているため、業務を遂行する際の取り組み方、自分たちのサービスとは？について意識的になり、日々の改善を常態化し、互いに注意を喚起したり、アイデアを出しやすくなった。
結果、リーガルパートナーズ司法書士事務所の独自性が発揮される。



ようこそ90人の侍へ 新入会員の紹介

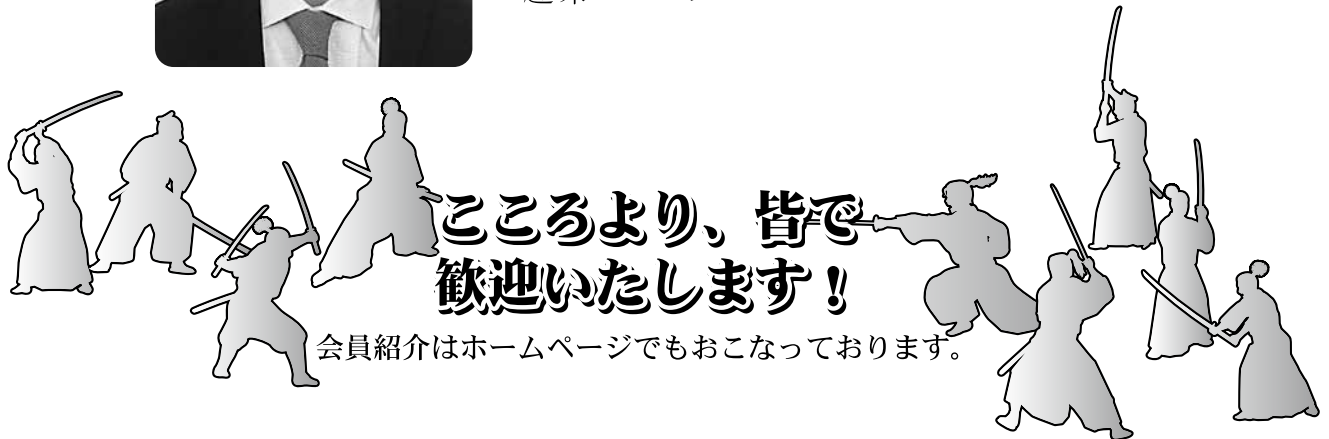


橋口 弘 会員 45歳

平成26年8月18日入会承認

有限会社橋口商店 代表取締役

趣味 ゴルフ



こころより、皆で
歓迎いたします！

会員紹介はホームページでもおこなっております。

八代よろずかわら版

出身地 八代市出町

“八代が生んだスーパースター”

とんちの
スーパースター
彦一を
追っかけろ！



熊本の民話を代表するものとして『彦一話』が県のホームページでも紹介されています。かつては学校の教科書にも登場していた“彦一”をもう一度目指せメジャーカンバック!!

○そこで“彦一”豆知識～

彦一は江戸時代八代に実在したとされる人物。出町に光徳寺というお寺があり、江戸時代の終わり頃このお寺の檀家に彦市というものがあ、この人物が彦一話のモデルだと言い伝えられてきました。境内には八代民話同好会の方々が建立された『彦一塚』が残されています。

いずれにしても彦一話は八代を舞台に八代の庶民によって練られ、伝えられてきた素晴らしい昔話です。

これを機に彦一話を読み直し、舞台となった地を訪ねることもひと味違った八代散策・再発見に繋がると思います。

ぜひ、出かけてみませんか!! 一緒に！